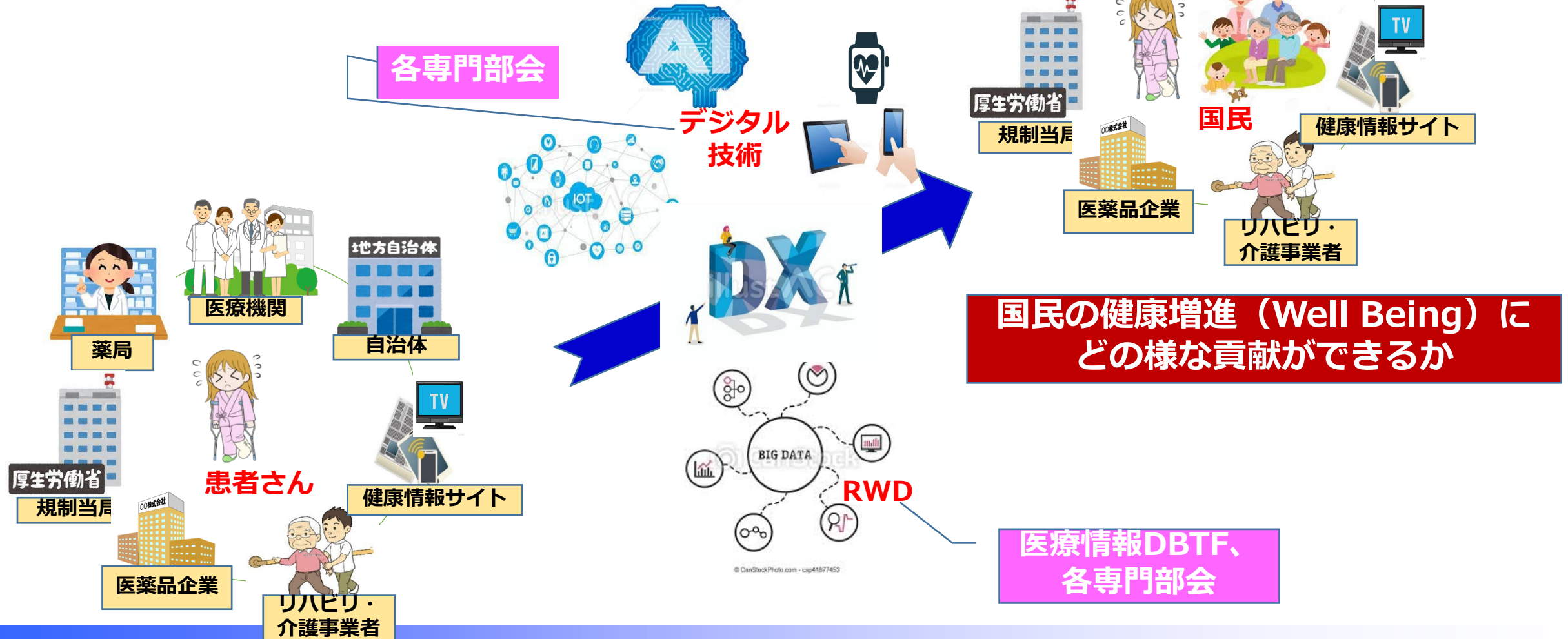


DX推進による貢献

デジタル技術やRWDを活用し、国民に対し、
新たな価値やエビデンスを提供するための
環境整備や政策提言



臨床試験や製販後調査等の効率化やスピードアップ等を通じた患者さんへの貢献に係る活動は引き続き注力
個人にとって、最適な、病気に対する治療、病気の予防、健康維持等の対策に係る活動も重要

◆ **患者さんの治療アクセスを向上する取り組み**

オンライン診療、薬の自動配送（治験であればDCT）、etc

◆ **患者さん・国民に、早く適切に必要な情報を提供する取り組み**

病気の治療法（治験であれば治験に係る情報）、副作用や薬の飲み合わせ、自身の健康情報の活用、etc

◆ **新たな治療方法や既存治療の価値を高める手段に係る取り組み**

SaMD、dBM、etc

◆ **疾患や疾患の兆候（未病）に気づき、行動につなげる助けとなる取り組み**

SaMD、dBM、etc

◆ **上記の活動に密接にかかわるRWD利活用**

◆ **AIに関する取り組み**

各社や規制等教務で多くの取り組みがなされている現状を踏まえ、製薬協で取り組むべき内容は何か